

# 新成人おめでとう

平成30年度立科町成人式が8月15日老人福祉センターに於いて新成人56名(対象87名)参加のもと開催されました。

## 新成人として

新成人代表 矢ヶ崎 浩之

私たち新成人は、冬季長野オリンピックが開催された20年前にこの世に生を受けました。これからは、この立科で育つことができたことに誇りを持ち、大人として課せられた責務を果たしながら先輩方とともに、よりよい社会の創造に貢献できるように努めたいと考えております。

さて、先月初頭にはロシアでワールドカップが開催され、日本代表が世界の代表と善戦し、多くの感動を届けてくれました。しかし、その感動もつかの間、過去に類を見ない豪雨が西日本を襲いました。いま、私たちの住む日本という国は、ワールドカップや東京オリンピックなどで評価さ



れています。日本国内に目を向けてみると自然災害、少子高齢化、インフラの老朽化などさまざまな問題を抱えています。

そのようなこの国をこれから支え、創り上げていく一人の人間として、常に向上心を持ち前進していく所存です。

私は今、県外で一人暮らしをしながら学生生活を送っています。当初は慣れない家事と金銭管理に四苦八苦し、親のありがたみを痛感していました。そんな私も来年度からは、都内での就職が決まり1人の社会人として生きて行くことになります。実のところ不安がかなり大きい

ですが、最も若いということとを武器に、同期という仲間と切磋琢磨し、いち早く諸先輩方のような社会人になりたいと思っております。

今日、私たちがこうして集い、成人式を迎えることができたのは、私たちを支えてくれた家族や親族、教え導いて下さった先生方、私たちの成長を温かく見守ってくださった地域の方々、そして何より共に歩んだ仲間たちのおかげです。

この感謝の気持ちと成人としての決意を心に刻み、力強く、やさしく生きていくことを誓い、新成人代表の挨拶とさせていただきます。

# 分館紹介

## 五輪久保分館の紹介

五輪久保分館長 柳澤 健一

五輪久保分館は、16戸、60名と小さな集落で、少人数ながらも分館独自の活動を行っています。新年祝賀式・どんど焼き・春の衣笠神社や秋の駒形神社のお祭りでは、職立て、育成会主催の花火大会やボーリング大会が主な活動です。

新年祝賀式では元日の朝、老若男女が集会所に集まり式典を行い、新年のあいさつを交わします。春と秋のお祭りで立てる幟は、木の柱の先端に竹を巻いて旗をとめるためのロープを通し、支えながら立ち上げています。柱も長く、人手が少なくなってきたので大変な作業です。

また、県下一斉ゴミゼロの日や立科町を美しくする日などの清掃活動では、住民の方が積極的に参加しています。花火大会では、育成会を中心に屋台を出しています。焼きそば、たこ焼き、かき氷など多彩な屋台が出ます。そして打ち上げた花火を大人も子供も楽しんでます。

戸数・人口が減ってきているので分館の活動も大変になってきていますが、協力をしながら工夫して活動していきたいと思えます。



## 蟹原分館の紹介

蟹原分館長 相場 春彦

蟹原分館の行事内容について紹介します。6月に入り田植えも一段落し、農休みを利用して毎年マレットゴルフ大会を企画し、年齢に関係なく参加を呼び掛け開催しています。

えんでこ祭りでは、藤沢区と連合で子供みこしに参加していますが、今年は、台風の影響で中止になり、残念な一面もありました。

毎年区では公民館にて蟹原祭りが開催されます。今年で17回目の蟹原祭りは、議員さんを含め大勢の区民が参加して交流を深めています。

お盆の15日には、藤沢区と班対抗ソフトボール大会が行われ、日中の暑い中、熱中症に気を付けながら三試合勝ち続け、久しぶりに優勝できたことはとても光栄に思います。

また、9月には4年に一度の町民大運動会が計画されています。来年の2月のふらばーバレー大会も計画されていますので、盛大に行われます事を期待しています。

区では高齢化に伴い、行事の参加者が減少傾向にあります。地区の活性化をめざし参加していただき行われている状況です。

